



今社会が求める 「即戦力」の育成を 目指して

富島高等学校 校長

大山 江里子

本校は、商業と家庭に関する専門
学校で、来年度創立100周年
を迎えます。

就職・進学ともに100%の決
定率を誇っていますが、本校のキ
ャリア教育は、就職や進学して終
わりではなく、その先の社会に出
てから必要とされる即戦力の育成に
主眼をおいています。

即戦力といっても、スキルや専
門的知識ではありません。コミュ
ニケーション能力、自律心、忍耐力、
困難を乗り越える力等、社会人・
職業人としての基盤となる力のこ
とです。そこで、本校では、机上
の学習でなく、生徒が地域に飛び
出し、学んだ知識や技術を活用し
て、地域のボランティア活動や現
場での実習、商品開発や起業家の
活動に取り組み等、実践的な体験
活動を展開しています。

今後も、キャリア教育支援セン

ターのサポートをいただきながら、
これからの活動を、さらに充実さ
せていきたいと思っております。

友達とつながる キャリア教育

平岩小中学校 校長

菅 朋教

本校では、小中9年を見通し
たキャリア教育に取り組んでい
る。年間を通して、授業や行事等、
様々な機会をとらえて、日向市
近郊の企業の皆さんや地域で生
活している皆さんに来ていただ
いたり、また、こちらから出か
けたりしながら、それぞれの仕
事の内容や仕事に対する考えな
どについて学ぶ機会を子ども達
の発達の段階に応じて設けてい
る。仕事について熱く語られる
講師を見つめる子ども達の目は
真剣そのものである。この真剣
な好奇心やあこがれをこれから
の進路に生かすとともに、進ん
で学習に取り組む原動力にして
いきたいと日々思っている。



育て小さな芽 「キャリア教育が 拓く未来」

日向市立財光寺小学校 校長

三樹 和幸

私には強い焦燥感がある。子
供たちを送り出す社会のことを
深く知りもしないで、単なる消
耗戦の努力を強いていないだろ
うかと。これからの未来を生き
抜くため子供たちにとって大切
な学びは「多様性」だと確信し
ている。人生において、人は大
きな決断を迫られることが必ず
ある。○×の決断でなく、51対49
での決断をする時がきつとくる。
本校では、子どもたちが「よの
なか先生」に、その道を決断し
た理由を問う。決断にはその人
が大切に行っている想いが根底に
あるからである。「救いたい」「新
しいものを創造したい」「役に立
ちたい」多様な価値観の鍬を入
れ、子供たちの未来への土壌を
耕し、小さな芽が出てくること
を期待している。

「よのなか先生」と共に

日向商工会議所

寺町 晃

先生は、日々自分の信念を持ち、
こどもの健やかな成長を願い、教
えて、育てていくことに傾注され
ます。しかしながら、授業の準備
作業から、研修会への参加、保護
者の対応、レポート提出、加えて
教育課程の見直しなどで、ゆっく
りと自分のおかれた立場を見つめ
なおす時間がほとんどないと、実
感していませんか。一人では、限
界があります。

「よのなか先生」の出番です。い
ろんなジャンルの方々が登録され
ていて、自分にはない勤労観、職
業観をもつていらつしゃいます。
こどもはちょっとしたきっかけ
でその後の人生の転機となるヒン
トを得たり、考え方を変えること
が出来ます。共に成長し、共に歩
んでいきましょう。



第9回 よのなか先生研修会のお知らせ

■日時
2015年11月16日(月)
18時00分～19時00分

■会場
日向商工会議所 1F
多目的ホール

■内容

- よのなか先生の事例発表 ならびに 意見交換
- 神谷 講平さん(旭化成での柔道・スポーツ体験)
- 木村 志保さん(上海での日本語学校教師体験)



大王谷学園 中等部9年生

◎「主体的進路選択」を統一テーマにして、年間10回の「よのなか教室」がスタートした(2015年)

①第1回「開校式」(5月26日)

「働くということ」
支援センター 水永 正恵さん
「夢を追いかけて、失敗を恐れないこと」
グローバルクリーン 税田 和久さん
開校式で「失敗を恐れるな」と語りかける税田さん
(横幕とスローガンは生徒たちの自作)



②第2回「資格と仕事」(6月16日)

大興不動産 中村 芳樹さん
日向市社会福祉協議会 成合 進也さん
長江保育園 黒木 ちどりさん
岸田電業 岸田 貴子さん
旭建設 園田 久美子さん、村社 朝美さん
宅地建物取引主任者の資格について話す中村さん



社会福祉士の資格と地域福祉への想いを語る成合さん



身近なところにある電気工事士の仕事を話す黒木さん



保育士として保育園の仕事を紹介する黒木さん



女性では珍しい、土木と建築の資格を持つ園田さんと村社さん

③第3回「専門(資格ではなく)と仕事」(7月14日)

旭化成ハイボア工場管理室 田野 保和さん
旭化成給与サービスグループ 松林 敏行さん
日向製錬所 人事総務 近藤 大祐さん
日向市社会福祉協議会 三樹 ちほみさん
書道家 今村 桃代さん
企業の経理、会計の専門の広さを紹介する田野さん



福祉の仕事のやりがいを感じる三樹さん



給与の支払いの難しさや苦労を紹介する松林さん



総務や人事の仕事を感じる近藤さん



実際に書いて見せて、魅力を伝える今村さん

資格は大事、しかし資格だけでもいけない、
専門をどう磨くか…
さまざまな視点で考えさせる授業になった

財光寺小学校

◎キャリア教育を校内主題研のテーマに設定して、1~6年生全学年をあげて「よのなか教室」の活用がすすむ(2015年)

①4年生 道徳
「勤勉、感謝」
(6月24日)

JICA青年海外協力隊
(ネパールから帰国)
北川 文香さん



先生と北川さんとの対話で授業がすすむ



新聞記事の構成について意見を話し合う子どもたち

②5年生 国語
「新聞記事を読み比べよう」
(7月1日)

宮日新聞日向支局長
小谷 実さん



セネガルの民族衣装を着て語りかける増田さん

③5年生 総合
「僕には私には
セネガルに友がいる」
(9月15日)

JICA青年海外協力隊
(セネガル派遣中)
増田 竜也さん



④2年生 総合
「日向の味を味わおう」
(9月25日)

富島高校生活情報科
2年生(19名)と一緒に
へべすゼリーを作る



高校生と一緒にへべすゼリーを作る子どもたち

⑤1年生 道徳
「世語になっている人」
(10月7日)

財光寺小学校
学校技術員 川邊 貴幸さん
学校を「宝物のような場所にしたい」と話す川邊さん



ビデオを使った事前研、本番授業の全教師による参観、事後研と重ねる毎に、先生方のチームワークと結束は高まっていった。次は3年生、6年生とつづく。